

OpenRTM-aist (C++) - 整備 #4570

rtm-namingへネームサービス終了用オプションを追加する

2018/07/19 10:31 - n.kawauchi

ステータス:	解決	開始日:	2018/07/19
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<ul style="list-style-type: none">• #4546 でkill-rtm-namingとして整備したが、この動作をrtm-namingの「-k」オプションで動作するようにする rtm-naming -k -f -w password• -kオプションで実行後にネームサービスを開始する場合は、「rtm-naming」「sudo systemctl start omniorb4-nameserver.service」のどちらの操作でも動くように整える			

履歴

#1 - 2018/07/19 10:41 - n.kawauchi

- プロジェクトをRT System Editor からOpenRTM-aist (C++) に変更

#2 - 2018/07/19 11:11 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

- r3392-3393にて対応完了
- ネームサービス終了時(rtm-naming -k)は以下の処理を行っている
 1. /etc/init.d/omniorb4-nameserver stop を実行
 2. /var/run/omniNames.pid 削除
 3. omninamesのbak,log,darファイルを削除 (カレントディレクトリと/var/lib/omniorb下)
- Ubuntu18.04は、ネームサービスが起動したままOSをshutdown, rebootした場合、OS起動時にomniNamesプロセスが自動起動しない
- この環境でrtm-namingを実行すると、下記の処理を経て起動できる動作を確認
 - 1回目の/etc/init.d/omniorb4-nameserver start実行。これでomniNamesプロセスは起動しない。
 - /etc/init.d/omniorb4-nameserver stop実行。上記の1-3の処理を行う。
 - 2回目の/etc/init.d/omniorb4-nameserver start実行。これにてomniNamesプロセスが起動する。

#3 - 2018/08/13 08:48 - n.kawauchi

- Fedora用OpenRTM-aist.spec.inにもkill-rtm-naming定義を追加していたので削除した
- r3400にて対応完了